

都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・9月予測） ～緩やかながら前月比プラスを維持

2020年9月2日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）ⁱを作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の3カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）ⁱⁱを DATASALAD にて公表している。本稿では、8月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した2020年9月の予測 CI を解説する。

2020年9月の九州7県の予測 CI：緩やかながら前月比プラス

2020年9月における九州7県の予測 CI は前月比+2.6%の94.6となり、4カ月連続でプラスとなった。6月の都道府県 CI が前月の5月から反転してプラスとなり、以降は改善が続いている。

なお、全国は前月比+6.5%の92.5となり、4カ月連続でプラスとなった。9月の全国の伸びは九州より大きくなるとみられるが、依然として全国は九州より低い水準で推移している。

都道府県 CI、予測 CI は、景気的水準とともに、景気の拡大・後退のスピードを把握することができる。新型コロナウイルス感染拡大により、景気的水準はリーマンショックに迫る水準まで悪化したが、5月を底に改善し、9月もその傾向が続くとみられる。その結果、2020年9月の CI の水準は新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻りつつある。

図1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州7県)



注1) 2020年6月までは実績値(都道府県CI)、7~9月は予測CI

注2) 2020年9月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

2020年9月の九州地域の予測CI：福岡県など4県で改善、沖縄県など5県で悪化

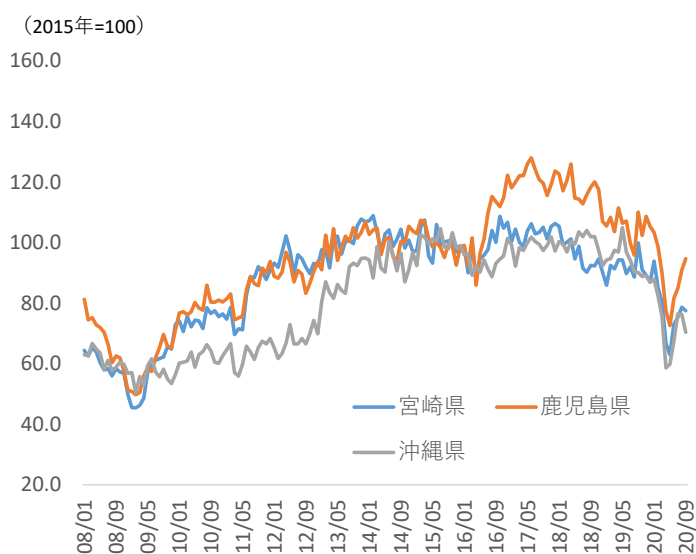
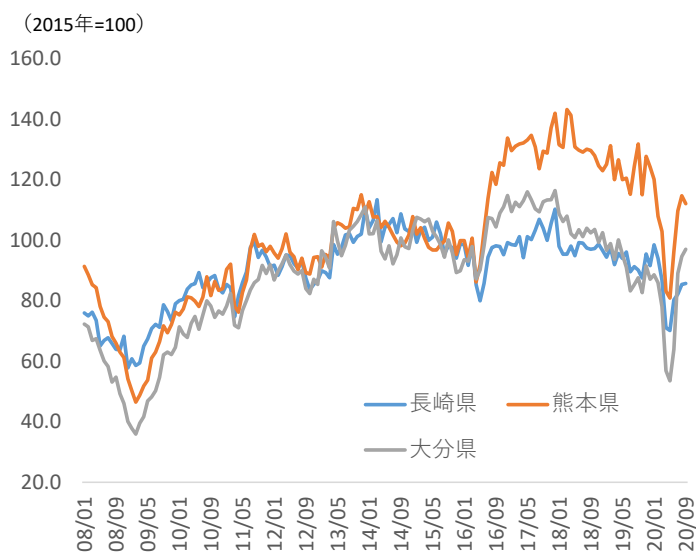
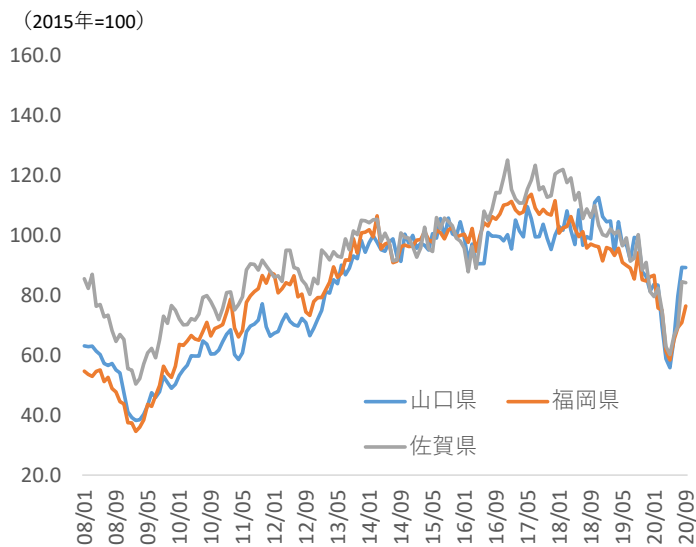
2020年9月における九州地域(九州7県・沖縄県・山口県)の予測CIを県別にみると、福岡県(前月比+7.7%)、長崎県(同+0.3%)、大分県(同+2.5%)、鹿児島県(同+4.1%)で前月比プラスとなり、その他の5県でマイナスとなった。

このうち比較的伸びが大きい福岡県、鹿児島県は消費関連、雇用関連の先行指標がプラスに作用している。大分県は雇用関連の指標はマイナスであるが、消費関連が下支えしプラスとなった。逆に前月比マイナスとなった5県はいずれも消費関連指標が弱く、特に沖縄県において顕著である。

松嶋 慶祐(事業開発部 主任研究員)

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)



注1) 2020年6月までは実績値(都道府県CI)、7~9月は予測CI

注2) 2020年9月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

表1 都道府県 CI、予測 CI (全国、九州地域)

	指数 (2015年 = 100)						前月比 (%)					
	都道府県CI			予測CI			都道府県CI			予測CI		
	2020年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	2020年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	80.8	77.1	81.0	83.3	86.8	92.5	▲ 11.4	▲ 4.6	5.1	2.9	4.2	6.5
九州7県	78.6	77.0	82.0	85.9	92.2	94.6	▲ 10.8	▲ 2.0	6.5	4.8	7.4	2.6
山口県	58.8	55.8	65.2	79.7	89.3	89.2	▲ 15.6	▲ 5.1	16.8	22.2	12.0	▲ 0.0
福岡県	61.4	58.4	65.0	69.2	70.9	76.4	▲ 18.1	▲ 4.9	11.3	6.5	2.4	7.7
佐賀県	62.9	60.2	66.3	69.6	84.5	84.2	▲ 16.0	▲ 4.3	10.1	4.9	21.5	▲ 0.5
長崎県	71.1	70.2	80.3	82.2	85.4	85.7	▲ 18.1	▲ 1.3	14.4	2.4	3.9	0.3
熊本県	83.2	80.9	96.3	109.7	114.7	112.1	▲ 19.1	▲ 2.8	19.0	14.0	4.5	▲ 2.3
大分県	56.9	53.5	63.9	89.0	94.6	97.0	▲ 27.1	▲ 6.0	19.4	39.3	6.3	2.5
宮崎県	66.7	62.9	73.0	75.3	78.6	77.5	▲ 17.0	▲ 5.7	16.1	3.1	4.5	▲ 1.5
鹿児島県	77.4	72.6	81.6	84.9	90.9	94.6	▲ 14.0	▲ 6.2	12.4	4.0	7.1	4.1
沖縄県	58.6	59.8	67.4	76.5	76.3	70.4	▲ 22.5	2.0	12.7	13.5	▲ 0.3	▲ 7.7

注1) 2020年6月までは実績値 (都道府県 CI)、7~9月は予測 CI

注2) 2020年9月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

i) 景気動向指数 (CI) は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県 CI は、内閣府が公表する CI の作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「C I 手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報 2019 年 11 月号

ii) 予測 CI は、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県 CI を予測したものである。経済指標のほか、気象データ (気温や降水量) など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測 CI は全国、地域ブロック、九州地域 (九州、沖縄県、山口県) の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報 2020 年 1 月号